

平成24年教育委員会 第6回定例会

- 日 時 平成24年6月28日(木) 13時30分
- 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 出席委員 高木委員長、北嶋委員、末永委員、遠藤委員、上林教育長
- 欠席委員 なし
- 事務局 教育部長、教育部参事、教育部副参事、指導室長、教育部主幹(適正配置担当)、総務管理課長、学校教育課長、石山指導室主幹、生涯学習課長、生涯スポーツ課長、総務管理課総務係長
- 傍聴人 3名
- 開 会 13時30分 閉 会 14時45分

議 案 第1号 小樽市教育委員会の所管に属する職員の倫理に関する訓令を廃止する訓令案

・事務局説明

小樽市教育委員会の所管に属する職員の倫理に関する訓令を廃止する訓令案について、小樽市職員倫理条例の全面施行に伴い、小樽市教育委員会の所管に属する職員の倫理に関する訓令を廃止するためである旨、説明を行う。

・全委員一致により決定した。

議 案 第2号 小樽市教育委員会の所管に属する職員の勤務時間等に関する訓令の一部を改正する訓令案

・事務局説明

小樽市教育委員会の所管に属する職員の勤務時間等に関する訓令の一部を改正する訓令案について、高島小学校温水プールの勤務体制を見直し、遅出勤務を設定するためである旨の説明を行う。

・委員意見・質問

職員の業務内容について質問

・事務局

プール一般開放の管理運営であり、水泳教室等の指導は含まない。

・全委員一致により決定した。

議 案 第3号 小樽市スポーツ推進審議会委員の委嘱案

・事務局説明

小樽市スポーツ推進審議会委員の委嘱案について、任期満了に伴うものであり、8名が再任、1名は新任である旨の説明を行う。

・委員意見・質問

条例では委員の定数は13名以内となっているが、実際9名となっている背景について質問

- ・事務局

審議会設置当初は13名いたが、同じ分野の委員の数が年々減少し現在の9名に至っている。

- ・全委員一致により決定した。

報 告 第 1 号 平成 2 3 年度いじめ・不登校等の状況について

- ・事務局説明

文部科学省実施の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」から、平成23年度の小樽市の状況を報告する。

いじめは平成22年度認知件数より大幅に減少しているが、原因として、よりきめ細やかな対応をするため、昨年度は申告の1件1件がいじめに該当するか聞き取り調査した結果、学校からの報告件数が減少したものと考えており、引き続き「いじめ防止キャンペーン」の継続や相談窓口の周知、教育相談についての研修会実施など、これまで以上にきめ細かく対応していきたいと考えていることを説明する。不登校については、前年度より減少しているが、特別な理由がなく漠然とした不安や無気力など本人に要因がある割合が多いこと、不登校が年間70名超である現状を憂慮し、市教委では今年度6月から7月にかけていじめ防止と不登校対策に重点的な取組を展開していることを説明する。また、適応指導教室の状況について、昨年度は23名が通級し、うち7名が学校復帰を果たしたことを説明する。暴力行為に関する調査の結果について、本市においては小学校では0件、中学校では対教師暴力2件、生徒間暴力19件、器物損壊44件が発生しているが、器物損壊は特定の学校に集中している状況であり、今後の対策として心の琴線に触れる生徒指導の充実に努めていくとともに福祉部、児童相談所、警察等との連携を強化していきたいと説明する。

- ・委員意見・質問

- ① 対教師暴力と器物損壊の詳細について質問、
- ② 器物損壊が多い特定の学校での改善策について質問
- ③ 不登校における非協力的な家庭の件数について質問
- ④ 不登校児童・生徒について個々の状況を把握しているか質問

- ・事務局

- ① 対教師暴力は被害届を出すには至らないものであり、また、器物損壊に対しては程度により弁償させることもある。
- ② スクールカウンセラーの声掛け、地域住民の巡回等により現在、学校は落ち着いた状態である。
- ③ 非協力的な家庭の件数については把握していないが、学校のみで抱え込まず組織的に取り組んでいる。
- ④ 学校からの月例報告で詳細に把握している。5月31日現在、不登校により30日以上生徒と会えない状況は発生していない。

- ・全委員が了承した。

報 告 第 2 号 公立高等学校配置計画案について

- ・事務局説明

北海道教育委員会から通知があった公立高等学校配置計画案（平成25年度～27年度）及び公立特別支援学校配置計画案（平成25年度）に関して、後志学区高校配置計画案を中心に報告を行う。

計画案では、平成26年度に潮陵1学級の減と昨年同様であること。平成26年度は、中卒者の数が対前年度比較で後志管内では94人の減少、小樽市内でも77人の減少と推計していること。平成28年度～31年度の見通しの4年間では、特に「小樽市内の再編について、職業学科の配置のあり方を含めた早急な検討が必要」と早期見直しが示されたこと。この計画案の説明については、7月13日開催予定の公立高等学校配置計画地域別検討協議会（第2回）で説明される予定であり、その後、9月に正式決定される見込みであることを説明する。

- ・全委員が了承した。

報 告 第 3 号 平成24年度小樽市学校医等功労者表彰の被表彰者について

- ・事務局説明

平成24年度の小樽市学校医等功労者として3名の歯科医師を表彰する旨、報告を行う。

- ・全委員が了承した。

報 告 第 4 号 小樽市文化芸術審議会委員の委嘱について

- ・事務局説明

文化芸術審議会委員の任期満了に伴い、小樽市長により7名が再任され、2名が新任された旨、報告を行う。

- ・全委員が了承した。

報 告 第 5 号 おたる運河ロードレースについて

- ・事務局説明

先に開催された第24回おたる運河ロードレース大会の結果について、報告を行う。

- ・全委員が了承した。

その他

第2回小樽市議会定例会について

- ・事務局説明

平成24年小樽市議会第2回定例会について報告を行う。会期中のため、本会議及び各委員会等での主な質疑について概要を報告する。

寄付採納について

- ・事務局説明

市民の文化芸術活動の推進・発展にと社会貢献事業で美術館企画展示室壁紙張替（50万

円相当)、市立図書館の図書充実にと図書40冊(5万余円相当)の寄贈が、小樽市教育振興資金基金へ30万円、学校図書、市立図書館の児童図書充実にと140万円の寄付があったことを報告する。

(非公開で審議)

議案 第4号 平成25年春の叙勲候補者の推薦案

平成25年春の叙勲候補者推薦案について説明を行い、全委員一致により決定した。

(非公開の審議を終了)